

介護予防事業について(2012年度)・・・一次予防事業

1 趣旨

高齢化の進展のなか、高齢者が心身の健康を維持しながら、自ら能力を最大限に活かし、住み慣れた地域で生き生きと生活するためには、日頃からの健康づくりが益々重要となってくる。

このため、介護一次予防事業を拡充し、ふれあいプラザ等を活用して健康教室等を開催し、健康づくり・介護予防を推進する。

2 現行の介護一次予防事業(健康推進課で実施)

(1)依頼による健康教育

年度	回数	延人数
2008	133	4,428
2009	130	3,248
2010	165	4,162

(2)ふれあいプラザの健康相談

年度	回数	延人数
2008	216	2,250
2009	197	2,130
2010	74	933

※歯科相談、栄養相談も合わせて実施する場合がある

(3)シニア食生活改善教室

年度	回数	延人数
2008	191	4,721
2009	248	5,141
2010	240	5,029

※1学区で2回から3回程度の実施

3 2012年度において拡充する介護一次予防事業(高齢者支援課で実施)

基本:事業効果の視点からは定期的・継続的に実施することが不可欠となる。(イベント的な実施ではその効果は半減する。)

- | | |
|-----------------------|---|
| (1)ストレッチ・転倒・骨折予防体操教室 | 48会場年4回実施 (プラザ33会場, 老人福祉センター5会場, 公民館等10会場) |
| (2)脳トレーニングと運動で認知症予防教室 | 48会場年4回実施 (プラザ33会場, 老人福祉センター5会場, 公民館等10会場) |
| (3)ヨガ, ピラティスでリラックス教室 | 48会場年4回実施 (プラザ33会場, 老人福祉センター5会場, 公民館等10会場) |
| (4)高齢者の食生活改善教室 | 43会場年2回実施 (プラザ33会場, 公民館等10会場) |
| (5)救急救命教室 | 48開場で年1回実施 (プラザ33会場, 老人福祉センター5会場, 公民館等10会場) |

4 拡充後の年間実施計画(ふれあいプラザの例)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■	■	▲	▲	●	●	■	■	▲	▲	●	●
		★			◎			★			

※その他 ふれあいプラザの自主事業により利用者負担で住民ニーズに応じた教室を開催する。

(凡例)

- ・・・ストレッチ・転倒、骨折予防体操教室
- ▲・・・脳トレーニングと運動で認知症予防教室
- ・・・ヨガ、ピラティスでリラックス教室
- ★・・・高齢者の食生活改善教室
- ◎・・・救急救命教室

(実施方法)

- i ふれあいプラザ運営委員会を通じて、地域住民に広く参加を呼びかける
- ii 学区老人クラブ連合会を通じて、広く参加を呼びかける

介護予防事業について(2012年度)・・・二次予防事業

1 事業の概要

別紙「いきいき介護予防」参照

2012年度からの新規事業として、栄養・口腔複合事業である「食と口の健康コース」を実施する。

2 事業実績

(1)事業参加者数

年度		2011	2010
参加実人数		790	528
(内訳) ※複数事業への参加者あり	総合型介護予防事業	531	255
	運動器の機能向上事業	467	256
	栄養改善事業	80	59
	口腔機能の向上事業	61	82
	いきいきデイサービス事業	181	125

※2011年度は1月末現在の人数

(2)チェック票送付人数及び提出者数

年度	対象者	対象人口	送付人数	提出者数	回収率
2011	75歳以上	53,412	34,010	19,095	56.1%
2012	70～75歳	26,702	22,000	13,200	60.0%
2013	65～70歳	32,857	30,000	21,000	70.0%

※2011年度の提出者数は2月15日現在の人数

※2012年度及び2013年度は見込人数